

圧力容器に欧州標準の審査

欧州の規制者団体が域内原発に勧告

欧州の原子力規制者ネットワークである西欧原子力規制者協会(WENRA)は八月二十九日、圧力容器製造時に生じる欠陥の点検に当たり、欧州標準の安全審査を欧州のすべての原子炉に適用すべきだと勧告した。ベルギーの原子炉二基で圧力容器材料中の元素組成の偏りが毛状ヒビ発生の原因となったことから、圧力容器の製造会社に関係なく統一の取れた手法で審査することで、欧州域内の原発における材料物質の品質と構造上の健全性を確実に検証していく重要性を指摘している。

ベルギーでは昨年夏、ドール3号機とチアン2号機(ともに百万kW級PWR)の超音波探傷検査で圧力容器母材に数千個の毛状ヒビの兆



勧告について説明するWENRAのハウナー会長

候を示す信号を検出。その後、の徹底調査で鍛造時に材料中の水素が集まって発生した「白点」が原因であったことが判明した。ベルギー連邦原子力規制局(FANC)は両炉の状態について「永久閉鎖しなければならぬ」というものではないと、今年五月に運転再開を承認したが、製造業者

米・Vヤンキー原発閉鎖へ ガス革命等により経済性悪化

米国のエンタジー社は、二〇一四年第四半期に閉鎖する方針を発表した。シエールカス革命や供給地域における電力卸売価格の低迷などの影響により、苦渋の決断を下すに至ったと説明。閉鎖後は安全貯蔵(SAFSTOR)方式による廃止措置を取ることにしている。同社は一九七二年に営業運転を開始。エンタジー社は〇二年に同炉を購入したが、〇七年の冷却塔倒壊や一〇年のトリウム漏れなどトラブルが続いたことから、同社は一〇年二月、同炉の売却を検討し始めていた。翌一年三月には米原子力規制委員会(NRC)から三年まで二十年間の運転認可延長が認められたが、今回の閉鎖決定に至るまでには複数の経済的要因が根底にあると強調した。



また、NDT試験の実施時期についても、通常の計画停止時期を提案。審査のために原子炉を特別に停止する必要はないと強調している。

日本の原子力規制委員会(NRA)は先週、福島第一原発・地上タンクからの汚染水漏れに対する国際原子力事象評価尺度(INES)の評価を1から3に修正したが、こうした情報発信の仕方は海外も含めてメディアの混乱と不安を煽る結果になった。

日本の情報発信手法に苦言

WNAのリーディング理事長

これについて世界原子力協会(WNA)のA・リーディング理事長(II)は八月二十九日、「INESの適用と解釈における誤りが原子力安全に関するマスコミ報道を誇張させる結果を引き起こした」と指摘するコメントを発表、原子力事象情報

への影響を及ぼすに至ったと指摘している。リーディング理事長によると、INESの評価は原子力発電所の安全関連事象について本当に深刻なもの、それより軽いもの、線引きなど、状況に応じて異なることを意図している。日本の当局がその評価を繰り返して変更し、漏洩という深刻な事象が

米規制委のPWR審査基準の適用

米原子力規制委員会(NRC)は八月二十六日、B&W社が開発している小型モジュール炉(SMR)「mPower」について、同設計に特化した設計審査基準(DSS)案の適用を承認した。同案は、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。



また、NDT試験の実施時期についても、通常の計画停止時期を提案。審査のために原子炉を特別に停止する必要はないと強調している。



しかしながら、その二ニュース報道はINESの適用と解釈のお粗末から非常に混乱。これが国際社会の多大な懸念を引き起こし、現実の経済

が国際原子力機関(IAEA)から受け取った助言、すなわち「頻繁な評し、今年五月に運転再開を承認したが、製造業者

ブラジルに駐在事務所を開設

中国核電気公司(CNNC)は、ブラジルに駐在事務所を開設することを発表した。同社は、ブラジルの原子力市場を開拓する狙いがあると見られている。



また、閉鎖に際しては、NRCが定めた認可終了のための廃止措置財政保証に最低でも五億六千六百万円が必要となる。バーモント・ヤンキー原発の閉鎖時期は、同社が昨年十一月、SMR商業化のための支援プログラムで対象設計の一つに選定済みである。

また、NRCは、リスク関連の知見を統合した審査の手法や慣行を反映することにも、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。

また、NRCは、リスク関連の知見を統合した審査の手法や慣行を反映することにも、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。

また、NRCは、リスク関連の知見を統合した審査の手法や慣行を反映することにも、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。

また、NRCは、リスク関連の知見を統合した審査の手法や慣行を反映することにも、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。

また、NRCは、リスク関連の知見を統合した審査の手法や慣行を反映することにも、過去の設計認証(DSS)審査や建設・運転一括認可(COL)申請の審査で得られた教訓を採り入れた内容になる。